

別紙 教育情報セキュリティ対策支援業務評価項目一覧

評価項目	項番	提案依頼事項	配点	評価区分	
				必須	加点
Ⅰ. 提案の要旨			100		
1. 本提案書の全体像	1	本セキュリティ対策支援業務の目的や背景を理解したうえで、提案書の全体像・要旨が簡潔に示されている。	100	○	-
Ⅱ. 方法論			600		
1. 監査手法	2	採用するセキュリティ監査の方法とその必要性が明確に示されている。	50	○	-
	3	県より提示する情報セキュリティ監査項目を充足していることが明確に示されている。	50	○	-
	4	採用するセキュリティ監査の方法・項目に創意工夫が示されている。	100	-	○
	5	対象者（管理職・一般教職員等）に合わせた研修資料や動画作成及び自己点検支援の手法に創意工夫が示されている。	100	-	○
2. 研修支援	6	実効性の高いポリシー改定案の検討プロセスや教育現場で活用しやすいハンドブック作成の手法に創意工夫が示されている。	100	-	○
3. ポリシー改定及びハンドブック作成	7	監査報告書等の成果物のフォーマット等が示され、最終成果物のイメージが分かりやすく示されている。	200	○	-
4. 成果物のアウトプットイメージ	7	監査報告書等の成果物のフォーマット等が示され、最終成果物のイメージが分かりやすく示されている。	200	○	-
Ⅲ. プロジェクト管理・計画・スケジュール等			300		
1. プロジェクト計画	8	標準ガイドライン等を参考に、以下の内容を含むプロジェクト計画書を作成し、提案書に添付されている。 ・マスタスケジュール ・体制表成果物一覧 ・作業場所（情報セキュリティ対策等を含む） ・その他必要と考える内容	100	○	-
	9	納期を遵守可能とする、根拠のあるスケジュールが作成されており、クリティカルパス及びマイルストーン・WBS等が明確に示されている。	100	-	○
2. プロジェクト管理	10	本業務を円滑に進めるための具体的なプロジェクト管理（進捗・課題・リスク等）手法が示されている。	100	○	-
Ⅳ. 体制・実績			600		
1. 体制	11	本業務を円滑に進めるために必要なスキルを備えた要員が適切に配置されており、また想定される業務量に対して十分な要員が配置されていることが具体的に示されている。	100	○	-
	12	本業務に関与する要員について、着任期間、機微情報の取扱い有無、担当業務等を適切に管理するための手法について具体的に示されている。	100	○	-
2. 実績	13	公共機関におけるセキュリティ監査業務の実績を組織として有しており、本業務の実施にあたり有益な知見・ノウハウが具体的に示されている。	100	○	-
	14	本調達に従事する要員の資格・実績のうち、本業務の実施にあたり有効なものがある場合に、資格名、具体的な実績の内容が有効な理由と合わせて示されている。	300	-	○
Ⅴ. 費用積算			200		
1. 費用積算	15	積算根拠が明確であるとともに、予定価格に対して低廉な価格となっている。	200	○	-
<b>配点合計</b>			<b>1800</b>		